

Kiisサイバーセキュリティ研究会

セキュリティ人材 育成プログラム

オンライン
開講
(Webex)

2021年度第2クール (10月～12月)
受講者募集【各コース先着30名】

関西発！ビジネス実践的サイバーセキュリティ研修プログラム
社内に必須！2か月でこれからのセキュリティ人材に求められるスキルを学ぶ

企業・組織に対するサイバー攻撃のリスクが高まる中、セキュリティを担当する人材の確保は今後ますます大きな課題となります。また、全ての対策を外部の専門業者に任せてしまうことも、コスト等の面から現実的ではありません。日々のセキュリティ対策や、何かトラブルが発生したときの適切な対応など、社内人材のセキュリティスキルの向上は、これからのビジネス推進において必要不可欠となります。今回、関西情報センターでは、企業や組織がビジネスを推進する上で必要となる技術や制度について、サイバーセキュリティ関連各界の有識者を招聘し、すぐに役立つ実践的な内容の研修コースを設定しました。現場でセキュリティ対策に従事する担当者の方向けと、社内でセキュリティ対策部門をマネジメントする方向けの2つのコースを設定しています。ぜひこの機会に受講をご検討ください。

社内セキュリティ担当者向け・
セキュリティ担当者向けの2コースを開講

国家資格「情報処理安全確保支援士(登録セキスペ)」、
情報セキュリティマネジメント試験等
受験対策に最適

【受講特典】欠席時のフォローとして
講義の録画(オンデマンド)配信を実施

受講料 各コース100,000円+税
(一名当たり、税抜)

本プログラムの3つのポイント

Point

1

サイバーセキュリティの各界
最先端講師によるオムニバス専門講義

Point

2

演習等により、ビジネスの現場に
即した実践的な取り組みを学べる

Point

3

技術・法制度・運用など、
すぐに使えるノウハウが満載

受講方法 オンライン開講 (Cisco Webex 予定)

2021年10月～12月開講

お申し込みはWebページからお願いいたします
<https://secure.kiis.or.jp/cybersecurity/program.html>

【受講上の注意】

・本プログラムは Web 会議システム(Cisco Webex Meetings)によるリモート開催となります。一部講義では PC を活用しての演習・ワークショップを実施いたします。演習に際しては、事前にソフトウェアのインストールが必要となります。また、講義では Google フォームを用いた小テストを実施いたします。これらのシステムやクラウド環境に接続でき、カメラ・マイクが使用可能な PC 等が必須となります。
・一部講義で、受講に必要な環境(視聴機材、インターネット接続、視聴環境等)はお申込者様ご自身でご用意下さい。事務局からの機材貸出等はありませんので予めご了承ください。



【受講対象】情報システム/セキュリティ部門の技術者・担当者等（それ以外の方の受講も可能です）
 【到達目標】企業においてサイバーセキュリティ対策を実施する担当者を対象に、最新のセキュリティインシデントに関連した技術的な動向を学び、自社でのセキュリティ対策を企画・検討・推進できる人材を育成する。
 ・Webセキュリティやデジタル・フォレンジック、暗号等技術の概要を理解し、自社でのインシデント発生時や対策検討時にノウハウを生かせる
 ・Webセキュリティやデジタル・フォレンジック、暗号等技術の概要を理解し、セキュリティベンダ等への的確な指示・依頼ができるようになる
 ・最新のセキュリティインシデント事象等の情報を得、自社で必要な対策や組織内での情報共有手法等を習得する
 【修了基準】ライブ講義の出席率が80%以上、かつ出席回における小テスト解答内容において認定する。

a-01	サイバーセキュリティ人材育成とスキル
開講日	2021年10月28日（木）14:00～17:00
講義概要	どのようなスキルを持った人を『サイバーセキュリティ人材』と呼ぶのでしょうか。また、ユーザ企業のサイバーセキュリティ人材が辞めないようにするにはどうすればいいのでしょうか。これらについて、グローバルに情報セキュリティ資格を提供する団体である(ISC)2がどう考えるかをお話させていただきます。
講師	小熊 慶一郎 氏 (ISC)2 ディレクター

a-02	情報セキュリティの基本とリスクマネジメント
開講日	2021年11月2日（火）14:00～17:00
講義概要	組織において情報セキュリティ対策を推進するために必要な基本知識を学びます。情報セキュリティリスクへの対応としては、事故発生の防止だけでなく、事故に気づくための検知の仕組みや事故対応のための準備が必要です。事故事例に基づいて脅威を学び、より効果的な対策を行うための正しい考え方を身につけます。
講師	富田 一成 氏 ㈱ラック セキュリティアカデミー

a-03	情報セキュリティの基本とリスクマネジメント 【演習】 ワークショップ
開講日	2021年11月5日（金）14:00～17:00
講義概要	本講義では、様々なサイバーセキュリティの枠組み（サイバーセキュリティフレームワーク、脅威モデリング、攻撃、不正のトライアングル、サイバークルチェーン等）について演習を交え学習していただきます。演習では、攻撃や不正のモデリングから事例を解析したり、対策を検討するケーススタディを実施します。
講師	長谷川 長一 氏 ㈱ラック サイバー・グリッド・ジャパン 主席研究員

a-04	Web アプリケーション脆弱性診断ハンズオン ハンズオン演習
開講日	2021年11月9日（火）14:00～17:00
講義概要	Web アプリケーション脆弱性診断でよく使われるツールを使用して脆弱性診断を体験していただけます。基礎知識、ツール、脆弱性の説明をした後に、実際に疑似サイトに対してツールを使用して脆弱性診断を実施します。
講師	田所 成久 氏 ㈱神戸デジタル・ラボ 脆弱性診断チームシニアアナリスト

a-05	DFIR（デジタルフォレンジックとインシデントレスポンス）の 入門と体験 ハンズオン演習
開講日	2021年11月16日（火）14:00～17:00
講義概要	本講義では、フォレンジック調査とインシデント対応の概念と注意事項について解説するとともに、不正アクセスされた端末の初期調査を行います。
講師	大西 翔太 氏 ㈱神戸デジタル・ラボ デジタルビジネス本部 Security Service

a-06	サイバーセキュリティの管理と法 ワークショップ
開講日	2021年11月26日（金）14:00～17:00
講義概要	サイバーセキュリティを必要とする法律上の要請、社内に徹底し管理する際に関係する法律問題など、サイバーセキュリティには法的な問題が多く関わってきます。2020年3月、NISCから「サイバーセキュリティ関係法令ハンドブック」が発表されましたので、これを活かして講義します。
講師	金子 啓子 氏 大阪経済大学経営学部 准教授

a-07	Web アプリケーションの脅威と脆弱性
開講日	2021年11月30日（火）14:00～17:00
講義概要	本講義では、Web アプリケーションに含まれる脆弱性により発生する脅威や、そもそも脆弱性が発生する原因、発見された脆弱性をどのように取り扱うか等について説明します。
講師	越智 郁 氏 ㈱セキュアスカイ・テクノロジー

a-08	情報セキュリティの運用と組織
開講日	2021年12月7日（火）14:00～17:00
講義概要	経営課題として情報セキュリティを捉え対策を行うには、自組織のリスクを把握し必要な対策を確認し、対応が必要ですが、そのためには日々の運用が重要であり、そのための経営も含めた役割を明確にした体制も重要です。本講義では、リスクの把握、運用と対策、体制について解説します。
講師	嶋倉 文裕 氏 情報処理安全確保支援士 実践講習講師

a-09	暗号と認証（1）
開講日	2021年12月14日（火）9:30～12:30
講義概要	暗号についてはその言葉を知っていたとしても、内容、特に現代暗号の仕組みや利用方法について理解している人は必ずしも多くはありません。本講義ではまず現在において暗号とは何か、何であるべきかを講義し、その安全性の意味と利用方法について論じます。さらに最近の暗号技術の応用としてのデータ分散管理やブロックチェーンについて触れます。
講師	白石 善明 氏 神戸大学大学院工学研究科准教授

a-10	暗号と認証（2）
開講日	2021年12月14日（火）14:00～17:00
講義概要	複雑化している情報システムの運用においては、セキュリティを専門とする技術者だけで被害を未然に防いだり、最小化できなくなってきており、多方面の分野の技術者にセキュリティの考え方が求められてきています。本講義では、まず情報セキュリティの基本的な考え方を示し、データを保護するための暗号技術に関する初歩的な数学的知識と公開鍵暗号、電子署名などを学びます。そして、暗号技術の応用例として、シェアリングエコノミーの構築に資すると目されているブロックチェーンの技術について学びます。
講師	白石 善明 氏 神戸大学大学院工学研究科准教授

※各回の曜日、開催時間は同一ではありません。ご注意ください。

【受講対象】情報システム/セキュリティ部門の部門長等（それ以外の方の受講も可能です）
 【到達目標】企業のセキュリティ部門を取りまとめるマネジメント層を対象に、最新のセキュリティインシデント等の動向や技術的なトレンドを学び、自組織における適切なセキュリティマネジメント体制や手法等の検討ができる人材を育成する。
 ・最新のセキュリティインシデント状況を理解し、自組織におけるマネジメント方針を検討することができる
 ・自組織における情報資産やセキュリティリスク等の洗い出しを行うことができ、適切なセキュリティ投資水準や組織体制を見積もれるようになる
 【修了基準】ライブ講義の出席率が80%以上、かつ出席回における小テスト解答内容において認定する。

b-01	サイバーセキュリティ人材育成とスキル
開講日	2021年10月28日（木）14:00～17:00
講義概要	どのようなスキルを持った人を『サイバーセキュリティ人材』と呼ぶのでしょうか。また、ユーザ企業のサイバーセキュリティ人材が辞めないようにするにはどうすればいいのでしょうか。これらについて、グローバルに情報セキュリティ資格を提供する団体である(ISC)2がどう考えるかをお話させていただきます。
講師	小熊 慶一郎 氏 (ISC)2 ディレクター

b-02	情報セキュリティの基本とリスクマネジメント
開講日	2021年11月2日（火）14:00～17:00
講義概要	組織において情報セキュリティ対策を推進するために必要な基本知識を学びます。情報セキュリティリスクへの対応としては、事故発生の防止だけでなく、事故に気づくための検知の仕組みや事故対応のための準備が必要です。事故事例に基づいて脅威を学び、より効果的な対策を行うための正しい考え方を身につけます。
講師	富田 一成 氏 ㈱ラック セキュリティアカデミー

b-03	情報セキュリティの基本とリスクマネジメント 【演習】 ワークショップ
開講日	2021年11月5日（金）14:00～17:00
講義概要	本講義では、様々なサイバーセキュリティの枠組み（サイバーセキュリティフレームワーク、脅威モデリング、攻撃、不正のトライアングル、サイバーキルチェーン等）について演習を交え学習していただきます。演習では、攻撃や不正のモデリングから事例を解析したり、対策を検討するケーススタディを実施します。
講師	長谷川 長一 氏 ㈱ラック サイバー・グリッド・ジャパン 主席研究員

b-04	リスク分析からの対策立案、予算化計画 ワークショップ
開講日	2021年11月12日（金）14:00～17:00
講義概要	多くの中小企業ではセキュリティにおける予算は限られ、また世の中のブームに流されたり行き当たりばったりの対策を行ってしまうなどして、効果的なセキュリティ対策を実施するのが難しい状況です。セキュリティ対策の費用対効果を上げる最適な方法として、企業のセキュリティリスクを正しく把握し、リスクの高・低域から対応を行うことが必要となります。そのためには、企業のITリスク分析を実施する必要がありますが、セキュリティベンダに依頼した場合、高額なサービスとなり実施が困難なケースもありますので、社内での人材の育成が急務です。本講義では、企業のセキュリティリスクを正しく把握し、解析し、対策を立案する方法について解説し、演習を交えて理解を深めていきます。また、今話題の『テレワークセキュリティ』についても紹介します。
講師	近藤 伸明 氏 ㈱神戸デジタル・ラボ セキュリティコンサルタント

b-05	サイバーセキュリティ技術概論
開講日	2021年11月18日（木）14:00～17:00
講義概要	サイバー空間と呼ばれるネットを利用した仮想空間は、もはやサイバー社会として現実社会以上の生活および事業空間となっています。本講義ではサイバー社会での様々な問題点を取り上げ、その現状と対策について述べます。特に不正アクセスやマルウェア、最近ではランサムウェアや標的型メール攻撃とそれらの対策、さらに誹謗中傷を含めて風説の流布被害の深刻さや対策についても論じます。
講師	森井 昌克 氏 神戸大学大学院工学研究科 教授

b-06	サイバーセキュリティの管理と法
開講日	2021年11月26日（金）14:00～17:00
講義概要	サイバーセキュリティを必要とする法律上の要請、社内に徹底し管理する際に関係する法律問題など、サイバーセキュリティには法的な問題が多く関わってきます。2020年3月、NISCから「サイバーセキュリティ関係法令ハンドブック」が発表されましたので、これを活かして講義します。
講師	金子 啓子 氏 大阪経済大学経営学部 准教授

b-07	Web アプリケーションの脅威と脆弱性
開講日	2021年11月30日（火）14:00～17:00
講義概要	本講義では、Web アプリケーションに含まれる脆弱性により発生する脅威や、そもそも脆弱性が発生する原因、発見された脆弱性をどのように取り扱うか等について説明します。
講師	越智 郁 氏 ㈱セキュアスカイ・テクノロジー

b-08	情報セキュリティの運用と組織
開講日	2021年12月7日（火）14:00～17:00
講義概要	経営課題として情報セキュリティを捉え対策を行うには、自組織のリスクを把握し必要な対策を確認し、対応が必要ですが、そのためには日々の運用が重要であり、そのための経営も含めた役割を明確にした体制も重要です。本講義では、リスクの把握、運用と対策、体制について解説します。
講師	嶋倉 文裕 氏 情報処理安全確保支援士 実践講習講師

b-09	情報セキュリティの運用と組織【演習】 ワークショップ
開講日	2021年12月10日（金）14:00～17:00
講義概要	本講義では新型コロナウイルス感染拡大後、急速に普及したクラウドサービスやテレワークのリスクとセキュアな運用について、簡単な演習（ケーススタディ）を交え学習していただきます。
講師	長谷川 長一 氏 ㈱ラック サイバー・グリッド・ジャパン 主席研究員

b-10	CSIRT構築・運用
開講日	2021年12月17日（金）14:00～17:00
講義概要	サイバー攻撃は、組織の規模や分野によらず発生します。コンピュータ、システムを業務において利用する現在において、サイバー攻撃の影響は、業務の停止や損害など軽視できません。一方で日進月歩する技術や攻撃に対して、有効な対策を施すことは難しく、普段から緊急時を意識したコンティンジェンシープランや体制を準備し、活動することが求められます。CSIRTは、その中核的な役割を担います。本講義では、JPCERT/CCの現状について調査した結果などを基に、CSIRTの構築や運用のポイントを解説します。
講師	洞田 慎一 氏 (一社)JPCERTコーディネーションセンター 早期警戒グループマネージャ

※各回の曜日、開催時間は同一ではありません。ご注意ください。

セキュリティ人材育成プログラム 2021年度講師陣

各界専門家による全10回のオムニバス講座です。



小熊 慶一郎
(ISC)²



大西 翔太
(株)神戸デジタル・ラボ



越智 郁
(株)セキュアスカイ・テクノロジー



金子 啓子
大阪経済大学



近藤 伸明
(株)神戸デジタル・ラボ



嶋倉 文裕
情報処理安全確保支援士
実践講習講師



白石 善明
神戸大学大学院



田所 成久
(株)神戸デジタル・ラボ



富田 一成
(株)ラック



長谷川 長一
(株)ラック



洞田 慎一
(一社)JPCERT
コーディネーション
センター



森井 昌克
神戸大学大学院

【第2クール】

2021年10月～12月開講

お申し込みはWebページからお願いいたします

お申込み

下記ページの参加申込フォームよりお申し込みください。
定員になり次第、受付を終了いたしますので、お早めにお申し込み下さい。

<https://secure.kiis.or.jp/cybersecurity/program.html>

※参加申込フォームにアクセスできない場合は、メールにてお申し込みください。
(メールアドレス: rstaff@kiis.or.jp)



お問い合わせ

ご不明な点は以下までお問い合わせください。

Kiis 一般財団法人 **関西情報センター**

イノベーション創出支援グループ
サイバーセキュリティ研究会担当

電話番号：06-6809-2142

メールアドレス：rstaff@kiis.or.jp

【受講に際しての注意事項】

- ・受講料につきましては、お申し込み確認後、当方から請求書を発行いたします。開講前の入金を原則とさせていただきますが、差し支えございましたら事務局までご連絡ください。
- ・一旦納入された受講料は、受講前・受講途中にかかわらず、いかなる理由であっても払い戻しや別事業への振り替えはできません。
- ・本プログラムはWeb会議システム(Cisco Webex Meetings)によるリモート開催となります。一部講義ではPCを活用しての演習・ワークショップを実施いたします。演習に際しては、事前にソフトウェアのインストールが必要となります。また、講義ではGoogleフォーム(Googleドライブ)を用いた小テストを実施いたします。これらのシステムやクラウド環境に接続でき、カメラ・マイクが使用可能なPC等が必須となります。
- ・受講に必要な環境(視聴機材、インターネット接続、視聴環境等)はお申込者様ご自身でご用意下さい。事務局からの貸出等は行っておりませんので予めご了承ください。
- ・受講お申し込み後に、講義を問題なく受講できることを確認するため、接続テストへのご協力をお願いさせていただきます。ライブ講義の出席率が80%以上、かつ出席回における小テストを回答・提出頂いた方を対象に受講修了証を発行いたします。(※録画視聴によるオンデマンド受講者は対象外となります)
- ・以下の項目に基づく損害について、事務局は一切責任を負いません。
 - (1) 受講者が利用する機器もしくはソフトウェアなどのスペック、設定の不備または故障等により、本セミナーを受講できない場合。
 - (2) 受講者が利用するネットワークの品質、状況等により本セミナーを受講できない場合。
- ・災害発生や緊急事態宣言発令等のアクシデント、または講師の都合等により、直前に講義日程を変更する場合がございます。予めご了承の上、ご受講をお願いいたします。